

地域連携活動報告書

| | | | |
|------|---------------------------|-------|-------|
| 活動名 | 地域連携【ものづくり自由研究フェア】 | | |
| 実施団体 | 佐野工科高等学校 | 参加生徒数 | のべ87人 |
| 担当教員 | 教員17名 | | |
| 実施日時 | 平成30年8月19日(日) 10:00~16:00 | | |
| 場所 | いこらも～る泉佐野 | | |
| 住所 | 泉佐野市下瓦屋2-2-77 | | |

8月19日(日)、南海電車「井原里」駅近くの「いこらも～る泉佐野」にて、[ものづくり自由研究フェア]と題して、生徒たちが一般の方々に説明したり、製作の手伝いをしたり、普通の学校ではできない体験をすること、地域の子どもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらうためのイベントを開催しました。小学生くらいの子どもたちや、その保護者の方々が、体験ブースに多数参加してくださいました。今年度はファッションショーを行わず、すべての班が製作体験の活動に取組みました。

活動内容

羊毛フェルトの小物製作

羊毛に石鹼水をつけて手のひらで丸めたフェルトボールでストラップ小物をつくる体験です。産業創造系課題研究テキスタイル班の生徒たちで指導しました。

スマートボールゲームの製作

木材で手作りしたスマートボールゲームのキッドを組み立てて、盤にはオリジナルの絵を描いて完成させる体験です。持ち帰って遊ぶこともできます。創造部の生徒たちと卒業生の先輩が協力して取り組みました。

単極モータ製作と実験体験

乾電池と導線を使って回る、単極モーターを作る体験です。理科部の生徒たちが指導しました。

だんじり模型製作

生徒たちで各パーツを作った、だんじりのミニチュア作りの体験です。電気系課題研究の生徒たちが指導しました。

スタディーンを使ったロボット制御で遊ぶ体験

ロボット組み立てとコンピュータプログラミングでの制御体験です。1年2組有志と機械工作部の生徒たちで指導しました。

ジオラマの製作

ミニチュアサイズの風景模型を作る体験で電子工作部の生徒たちが指導しました。

輪ゴム鉄砲製作と遊び体験

3Dプリンタ製の小さな輪ゴム鉄砲のパーツを組み立て、輪ゴムを飛ばして的に当てて遊ぶ体験です。産業創造系課題研究3Dモデリング班の生徒たちが指導しました。

ネジロボットフィギュア製作

ネジパーツをくみだして小さなロボット型フィギュアを作る体験です。機械工作部の生徒たちが指導しました。

くるみボタン飾りの製作

あらかじめ準備した手染めの布などから好きな絵柄の部分を選び、くるみボタン型の髪飾りを製作する体験です。産業創造系課題研究染色デザイン班の生徒たちが指導しました。

ポケットティッシュケースの製作と浴衣パネル紹介

手作りの布製ポケットティッシュケースを折りたんで縫うことで準備し、好みのビーズやスパンコール等で飾りつけて完成させる体験です。体験者はくじ引きでシャツ型のケースが当たるチャンスも用意しました。産業創造系課題研究ファッション班の生徒たちが、自ら製作した浴衣姿で指導し、パネル展示の浴衣紹介も兼ねながら取り組みました。



ご来場いただきました皆様方、いこらも～る泉佐野の方々、本当にありがとうございました。おかげさまで1日間でしたが、楽しく活動し貴重な体験をすることができました。

大阪府立佐野工科高等学校
校長 山本好男

ものづくり自由研究フェアにおける、西日本豪雨災害被災支援活動へ募金についての報告

平成30年8月19日(日)、いこらも～る泉佐野(泉佐野市下瓦屋)において、地域の子どもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらうため、「ものづくり自由研究フェア」と題して様々なブースを設けた取組みを行いました。それらブースのうち下のブースにおいては、無料での製作提供を行い、7月に発生した西日本豪雨災害で被害を受けた方々への義援金寄付を募らせていただきました。

対象のブースは以下の2ブースです。

- ・ポケットティッシュケースを製作するブース(担当:産業創造系課題研究 ファッション班)
 - ・くるみボタン飾りを製作するブース(担当:産業創造系課題研究 染色デザイン班)
- 義援金の総額は、「2130円」になり、倉敷市役所の義援金窓口へ送金しました。

被災された方々の一日も早い復興をお祈り申し上げます。
ご協力いただいた皆様、たいへんありがとうございました。